

# 書けそうな自信が持てた！

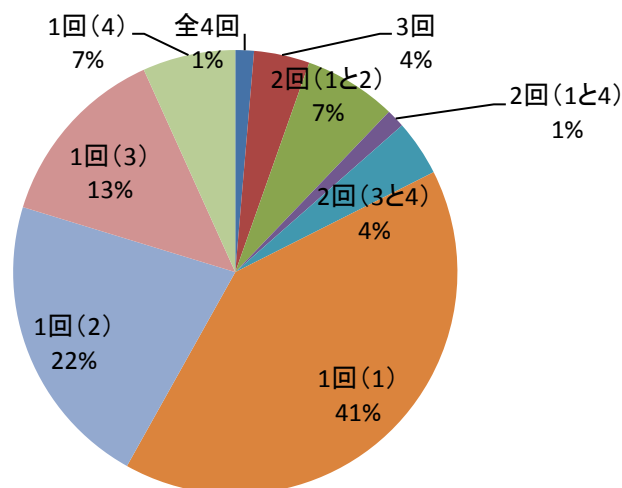
## ～本文と注の表現・表記・書式が校正のポイント！～

報告日:2013/3/7 報告者:帝京大学メディアライブラリーセンター

講座名	レポート・論文作成「超」実用講座 第4回:執筆・仕上げ編 「イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!」の巻
日時	2012年12月6日(木) 16:30～18:00
会場	メディアライブラリーセンター 2階情報学習室
対象者	・初めてレポートを作成する学生 ・今までにレポートや論文の書き方を習ったことがない学生
参加者数	13名(学部生13)
講師	総合教育センター准教授 仁上幸治(にかみ・こうじ)先生
教材	・DVD『情報の達人』全3巻(DVD版33講)仁上幸治・野末俊比古監修、紀伊國屋書店、2007 「第3巻 レポート・論文を書こう！」 第8講: 文献の読解と執筆(ステップ6～8)/8分 第9講: 出典の表示(ステップ9)/6分 第10講: 仕上げ(ステップ10)/9分
配布資料	・第4回:執筆・仕上げ編レジュメ「イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!」の巻ーアウトラインに沿って執筆、表現・表記を校正、出典と書式を確認ー ・「情報の達人」 第1講 テキスト「レポート・論文の作成手順」p.2-5 第8講 テキスト「文献の読解と執筆」p.30-33 第9講 テキスト「出典の表示」p.34-37 第10講 テキスト「仕上げ」p.38-41
内容	全4回のレポート・論文作成支援講座、最終回。4回全てを受講した学生は1名であったが、1週間前に開催された第3回からの連続受講者は全体の半数にのぼった。 今回はいよいよ「執筆・仕上げ編」、総集編である。引用の仕方や適した分量、体裁を整えることの大切さが語られた。また、仁上先生が普段の授業で受理している年間15000通のレポートの中から、実際にあった「悪い例」を取り上げ、どこを改善したら良いか具体的なアドバイスがなされた。質疑応答では、現在抱えているレポートや卒論についての悩みが寄せられ、活発な意見交換の時間となった。

### ■参加状況内訳(第1回～第4回)

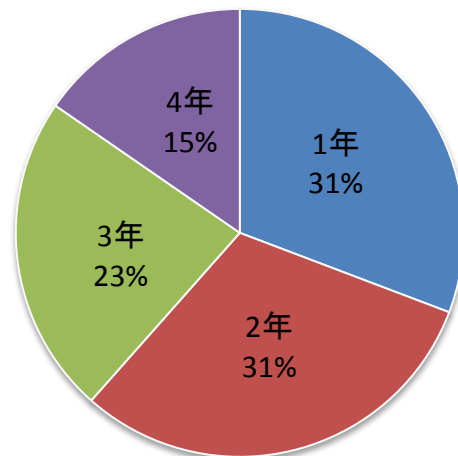
全4回参加	1
3回参加(第2回と第3回と第4回)	3
2回参加(第1回と第2回)	5
2回参加(第1回と第4回)	1
2回参加(第3回と第4回)	3
第1回のみ	30
第2回のみ	16
第3回のみ	10
第4回のみ	5
合計	74



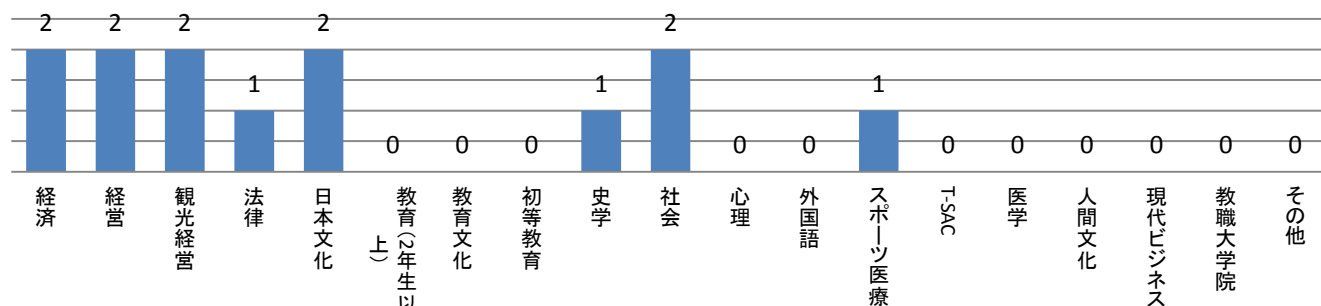
C.所属学科・学年(学生、院生)

	1年	2年	3年	4年	計
経済	2				2
経営		1		1	2
観光経営			2		2
法律	1				1
日本文化	1	1			2
教育(2年生以上)					0
教育文化					0
初等教育					0
史学				1	1
社会		1	1		2
心理					0
外国語					0
スポーツ医療		1			1
T-SAC					0
医学					0
人間文化					0
現代ビジネス					0
教職大学院					0
その他					0
計	4	4	3	2	13

A. 学年



C-2 学科構成<学生>



■参加者の内訳(第4回)

A.利用者区分

学部生	13	100.0%
計	13	100.0%

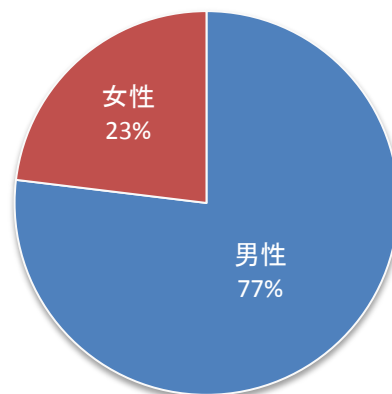
B.性別

男性	10	76.9%
女性	3	23.1%
計	13	100.0%

B. 区分



C. 性別

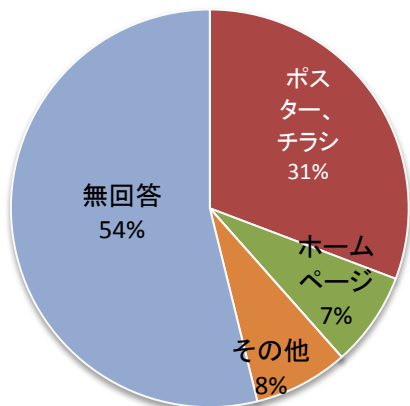


■アンケート集計結果(第4回)

参加者数	13	名
アンケート回収枚数	13	枚
回収率	100.0%	

[1] 本日の講習会のことを最初になにで知りましたか？

■回答者の7割がポスター、チラシを挙げている。

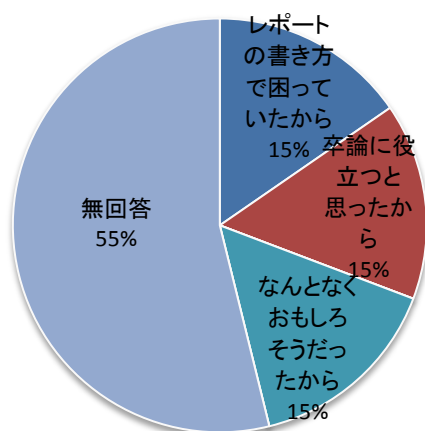


放送	0	0.0%
ポスター、チラシ	4	30.8%
ホームページ	1	7.7%
教員の誘い	0	0.0%
友人の誘い	0	0.0%
その他（注1）	1	7.7%
無回答	7	53.8%
計	13	100.0%

（注1）メリックからのメール

[2] 参加しようと思った理由は何ですか？【複数選択可】

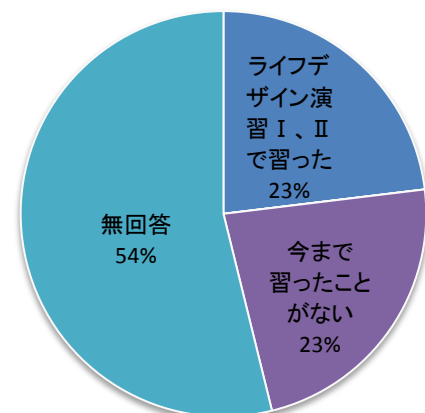
■「レポートの書き方で困っていた」「卒論に役立つ」「なんとなくおもしろそう」の3つの動機が同率。



レポートの書き方で困っていたから	2	15.4%
卒論に役立つと思ったから	2	15.4%
教員に指示されたから	0	0.0%
就活に役立つと思ったから	0	0.0%
なんとなくおもしろそうだったから	2	15.4%
その他	0	0.0%
無回答	7	53.8%
計	13	100.0%

[3] 今までの授業で、レポート・論文の書き方を習ったことがありますか？

■全体の4割が「ライフデザイン演習Ⅰ・Ⅱで習った」と回答。無回答も目立っている。



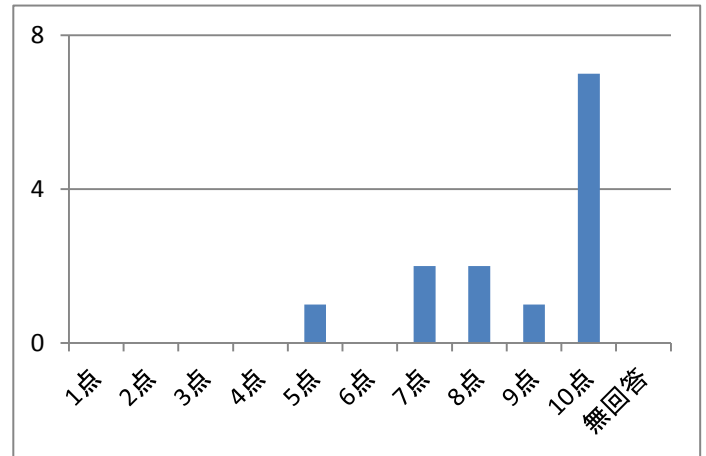
	1年	2年	3年	4年	無回答	計	割合
ライフデザイン演習Ⅰ、Ⅱで習った	2	1	0	0	0	3	23.1%
上記以外の授業で習った	0	0	0	0	0	0	0.0%
習ったかもしれないが覚えていない	0	0	0	0	0	0	0.0%
今まで習ったことがない	0	2	0	1	0	3	23.1%
無回答	2	1	3	1	0	7	53.8%
計	4	4	3	2	0	13	100.0%

[4]-1 レポートの書き方は理解できましたか？

■過半数が満点。

平均 8.77 点

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
0	0	0	0	1	0	2	2	1	7	0	13



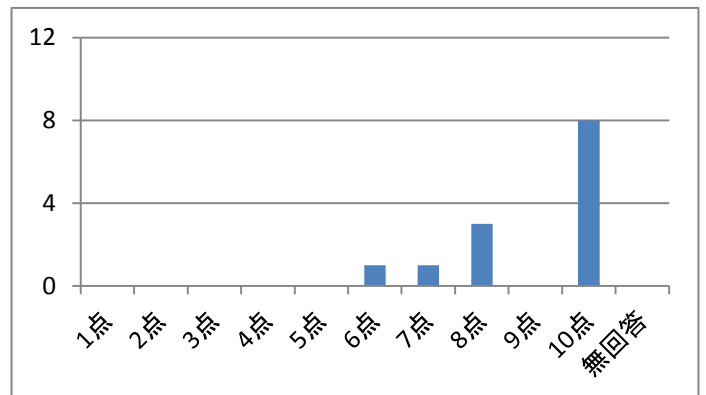
[4]-2 教材DVD『情報の達人 第3巻』はわかりやすかったですか？

※第8講:文献の読解と執筆、第9講:出典の表示、第10講:仕上げ」

■6割強が満点。

平均 9.00 点

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
0	0	0	0	0	1	1	3	0	8	0	13

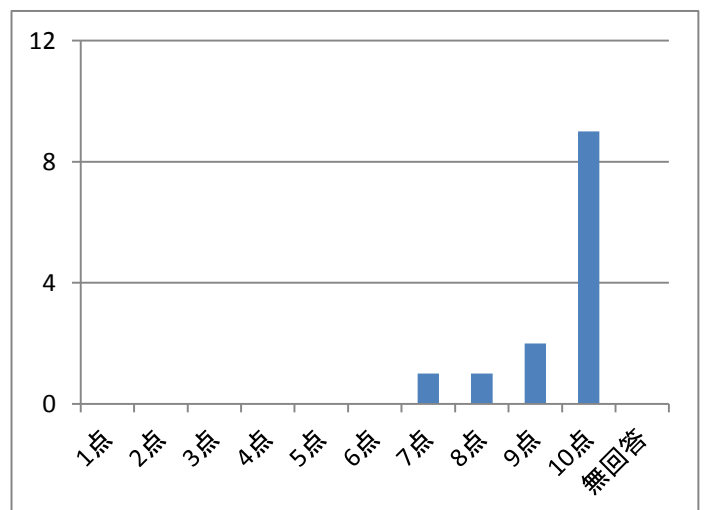


[4]-3 講師の説明はわかりやすかったですか？

■7割が満点。

平均 9.46 点

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
0	0	0	0	0	0	1	1	2	9	0	13

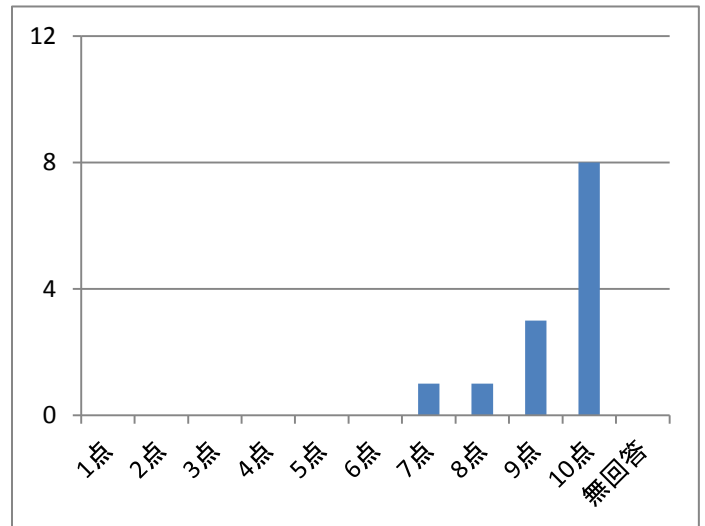


[4]-4 この講習会で学んだことを今後の大学生活に活かそうですか？

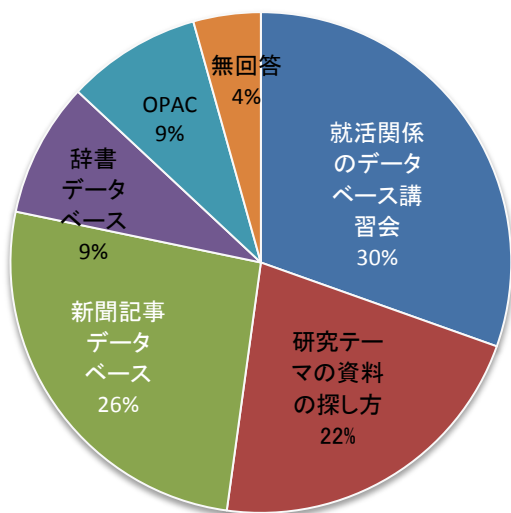
■9割弱が9点・10点の「活かそう」と回答。

平均 9.38 点

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
0	0	0	0	0	0	1	1	3	8	0	13



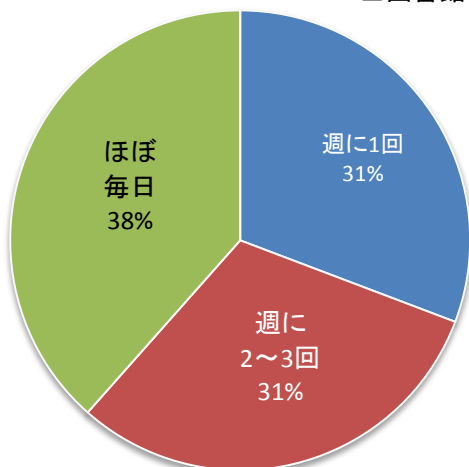
[5] 今後参加したい講習会に○を付けてください。【複数選択可】



就活関係のデータベース講習会	7	30.4%
研究テーマの資料の探し方	5	21.7%
新聞記事データベース	6	26.1%
辞書データベース	2	8.7%
OPAC	2	8.7%
無回答	1	4.3%
計	23	100.0%

[6] MELICの利用頻度を教えてください。

■図書館の利用頻度が比較的高い層が受講していることがわかる。非利用層対策が課題。



週に1回	4	30.8%
週に2~3回	4	30.8%
ほぼ毎日	5	38.5%
あまり利用しない	0	0.0%
計	13	100.0%

## ★感想をひとことで(20文字以内)

### ここが良かった！

- ・映像と話の時間配分が良かった。
- ・引用のやり方がわかったのでよかったです。
- ・書式の統一と出典を明記する重要さを知った！

### 勉強になった

- ・とてもわかりやすく参考になりました。
- ・思っていたよりもわかりやすかった。
- ・喉につまった様な感じが改善されました。
- ・つかれましたが、勉強になりました。

### 読書の大切さを理解

- ・もっと本を読むぜ！
- ・読書の習慣をつけて良い論文にしたいです。
- ・レポートを通じて、日本語についても学べた。

### その他

- ・また何かあったら先生に相談したいです。
- ・早くから講習会に参加すれば良かった。
- ・ゼミの報告書が上手く書けそうです！

[8]もっと詳しく説明を聞きたかった点などご自由にご記入ください。

- ・レポートは仮に完成していなかったとしても提出する必要があったとは思わなかった。
- ・校正の時間も大切だとは思わなかった。
- ・自信を持ってレポートが書けそう。
- ・レポートについて悪い例だけでなく良い例も教わりたかった。
- ・出典がインターネットのデータベースから取ったものばかりだとだめなのか？出典先のサイトURLがレポート提出後にリンク切れになってしまったら、レポートの信用性は落ちてしまうのか？
- ・ありがとうございました。
- ・一言で引用でも、参考文献として出典を書かなくてはいけないのか。

以上